

2015年7月28日

第200回日本経営倫理学会・理念哲学研究部会例会の議事録

部会長・村山元理

7月27日(月)18:00-20:00 学士会館309号室

参加者9名(緒川、長塚、山本、辻井、速水、望月、佐藤、宇佐神、村山)

欠席連絡:井上、古山、竹内、遠藤、 連絡なし:新川、西藤、佐藤、

今月より参加費500円。

【研究報告】

宇佐神:「村上泰亮・公文俊平・佐藤誠三郎『文明としてのイエ社会』(1979年)の概説」

レジュメ7枚。近代的な企業における組織原則を3人の共著による社会システム論・経済学・日本史の視点から『イエ社会』という立論の検討。イエ社会とは家族とも異なる概念で、東国武士集団から発生した組織原理で、以下の4つの基本特性をもつ。超血縁性、系譜性、機能的階級制、自立性である。この特性は今の企業社会にも妥当するとされる。しかし、本論は具体例、論証は現代的には誤りで、1980年以降『第三の波』、ユダヤ論、DNA、情報社会論などの学問の激変も踏まえて、イエ社会論を批判検討する内容となる。

【議論】1980年以降の情報化時代。東芝不正会計事件で石坂・土光は泣いている。西田社長を選んだ前社長にも責任あり。

【『21世紀の経営倫理』執筆に向け】

・既存発表、新規の研究を含めて各自の能力に応じて、日本企業、グローバル、学際性、ケース、人物、自己の人生の照射など。9/12までに各自がテーマ・分量をエントリーする。全体で16万字・大学テキスト用を想定。教科書的・啓蒙的な内容に。研究者はテキストの記述、シニア層は体験ストーリー記述型で少量などを想定。2年以内に完成へ。

【今後の日程のご案内】

8月11日(火曜)18:00-20:00 学士会館308号室

「戦後70年」の考える:『文藝春秋』2015年8月号「戦後70年 崩壊する神話この国のかたちを問う53人の提言」(7/10発売)から3つの記事を取り上げて各自が紹介し、全体で議論する。

9月12日(土曜) 土曜昼食会 サイゼリヤ上野広小路店(台東区上野2-7-12 鈴木ビル2F)

宇佐神先生の慰労会も兼ねる。

10月19日(月曜日) 学士会館308号室 (日程を10月から第3月曜日に)

議題:未定

以上